



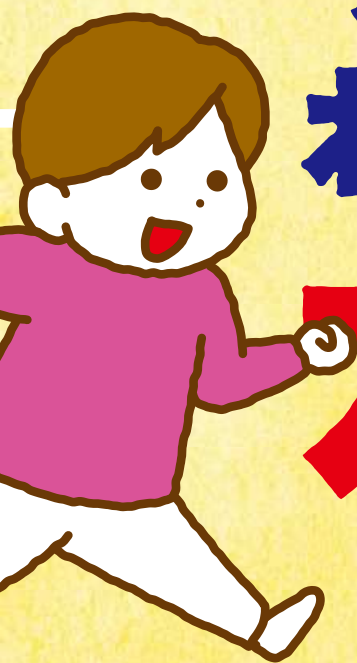
2023年育児の日フォーラム

あつまれ!

イマドキ育児のパパとママ!

れいわの子育て

大発見!!



~2023~

みんなで考えよう、
育児のこと



大木 晃



味園准教授



しょうごっこ



上妻 寿美



久木崎 みなみ

2023年育児の日フォーラム

あつまれ! イマドキ育児の パパとママ!

れいわの子育て大発見!!

男性・女性問わず、育休が推奨されるようになった今の時代。
あらためて子育てってどうしたらいいんだろう? 育休を取った後は何をすべき?
おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さんから
受け継がれた子育て術はもちろん、令和ならではの「イマドキな育児の方法」で、
家族全員が楽しく幸せな生活を送れるようなヒケツを大公開!!

【当日動画アーカイブ】

あつまれ!
イマドキ育児のパパとママ!
れいわの子育て大発見!!
【トークショー編】



あつまれ!
イマドキ育児のパパとママ!
れいわの子育て大発見!!
【パネルディスカッション編】



イベント概要

- 日 程：2023年11月4日(土)
- 時 間：13:00~16:00
- 本 会 場：かごしま県民交流センター(鹿児島市山下町14-50)
- サテライト会場：鹿 屋 市：鹿屋市役所本庁7階大会議室
枕 崎 市：枕崎市市民会館第1会議室
いちき 串木野市：いちき串木野市役所防災センター会議室
大 崎 町：大崎町中央公民館第4会議室
- 定 員：本会場100名/各サテライト会場50名
- 参 加 費：無料
- そ の 他：託児所も準備

同時開催ワークショップ 親子で楽しめる様々なワークショップを同時開催

- じゃんけんマン：宝石石鹸作り/缶バッジ作り/似顔絵パフォーマンス
- A n e l a：ジャラジャラキーホルダー
- エス・ボックス：ダンボールで動物作り
- E N O A：手の汚れない虹の手形アート
- 参 加 費：無料

- 主 催：鹿児島県
- 共 催：鹿屋市・枕崎市・いちき串木野市・大崎町
- 委 託 会 社：株式会社電通九州
(本事業は鹿児島県が「男性の家事・育児参画促進事業」を委託して実施したものです。)



中村 匠吾(しょうごっこ) 子育て系インフルエンサー

1996年生まれ。25歳で子の誕生。現在1児のパパ。過去、海上保安庁に勤務の際、3か月半の育休を取得。実際に育休を取り、初めて子育てをしていく中で育児に対する価値観が変わる。「若者は育児できないというわけでもない、育児は平等ということを伝えたい」その思いを楽しく分かりやすく伝えるために現在SNSにて活動中。育児に正解なんてない! 令和の育児について今流行りのインフルエンサーとして、SNSを通して感じてきたことを若い立場を代表して講演させていただきます!

味園 佳奈

鹿児島純心女子短期大学
生活学科 こども学専攻 准教授

鹿児島県公立小学校教諭。国立大学法人鹿児島大学教育学部附属幼稚園教諭を経て現職。保育者養成に従事する傍ら、鹿児島県幼稚園教育課程研究協議会講師、鹿児島市「育児教室」における家庭教育講座講師等、活動中。1児の母。家事と育児、「できるときに できるひとが できることを」それが我が家の合い言葉。



大木 晃 天文館子ども食堂/ (株)HOMU代表取締役

鹿児島市内で飲食店を4店舗経営。社員の中にも子育てパパがおり、家庭とお店の運営シフトなども合わせて考慮しています。店舗経営のかたわら、2016年10月より天文館子ども食堂を運営中。



司会・進行 久木崎 みなみ

1993年生まれ。鹿児島純心女子大学在学中に2016本場大島袖クインに。卒業した年の2016年、KTSでリポーターとして活動。2022年9月に第1子出産。甘えられるところは皆さんに助けけていただきながら、仕事と子育てを両立していきたいです。



上妻 寿美 フリーランスレポーター

KYTユメイロ@ネット/かごビタ レギュラー出演中。5歳2歳0歳の子どもを持つ3児の母。仕事と家庭の両立に悩みながら毎日試行錯誤。独身時代はなんでも仕事を引き受けて時間がなくても、忙しくても楽しくやっていたけど、今はこの仕事を受けることで子どもたちは幸せか?を優先しています。

お二人それぞれの家事育児の“楽しみ方”についてトークを進めました。

いろんな事をごっこ遊びで楽しく！
しょうごっこ流家事育児の仕方！



質疑応答



Q.パパとママの関係性をよくするには？

しょうごっこ:ケンカは普通にします(笑)。ただ心がけているのは、子どもにとってはパパとママの関係であるのですが、子どもが近くにいない時は名前で呼んだり、2人で出かけることを“デート”と言ったりしていますね。

味園准教授:我が家は全て2人で一緒に家事育児をしているんですね。となると、基本はハウ(報告)・レン(連絡)・ソウ(相談)は必須となるんですね。プラス“見える化”です。言つたつもり伝えたつもりでも、言われた側は日々の生活の中で忘れてしまうこともあると思うんです。そこで「見える化」=記録していれば共通理解ができて家事育児に向き合えるのではないのかなと話をしています。私が思っていることは「お互い求めない」=「できるときにできるひとができることを」というスタンスです。ズレが起これという事は相手に求めているという事だと思いますので、相手に感謝しながらどう行動するか、という事も含めて“語り合う時間”を大事にしています。

Q.子育ての悩みを抱えていることを、SNSを含めて「言っちゃいけない」と感じますが、そのようなネガティブ思考を変えるアドバイスはありますか？

しょうごっこ:ネガティブなSNS投稿は批判の声が出たりするので非常に勇気が必要になりますが、その反面「この方も同じ経験があるんだ」「こんなに頑張ってるんだ」という共感を生む事もあります。答えになっていませんが、誰かを勇気づけているかもしれません。

味園准教授:まさに現代の課題の一つが“自分の育児不安”で、誰にどう相談すれば良いのかが難しいと感じています。家事育児というのは本当に大変で、でも誰かに認められる機会が多いものでもないですよね。そういった中で、プラスに切り替えてSNSで情報提供をしてくれている方々もいらっしゃるのですが、子育て支援施設や相談窓口など自治体が整えているので、一人で悩まずに一歩外に出て誰かに相談してみましょう。“子どもまんなか社会”と最近言われていますので、子育てに温かい事が当たり前の地域社会になって欲しいと日々願っております。

Q.令和ならではの子育ての悩みとは？

しょうごっこ:泣きやませるのに動画を見せるなどそういう子育てにも賛否ありますが、以前は赤ちゃんの時はたくさん泣いた方が良いとも言われ、それにも賛否あったので、自分流で正解も不正解も出していきまっています。

味園准教授:みなさん、どれが正解なのかわかりませんよね。我が子にはどれが合うかわかり方なのかをSNSをはじめ情報ツールが増えたという風に捉えて、もしそれが合わなかったという結果になったとしても自分を責める必要はなく「合わなかった時期なのね」等とポジティブに捉える事が大事なのかなと思います。

Q.ご自身のお子さんへの想いや願いはありますか？

しょうごっこ:子どもは親を見て育つと言いますので、自分が間違った行動はしたくないですね。挨拶ができる子、愛嬌がある子に育って欲しいなと思っています。例えば自分が挨拶することを恥ずかしいと思ってしまえば、子どももそう感じてしまうのではないかと思うので、まだ数ヶ月の赤ちゃんの時でも関係なく、言葉遣いも含めて子どもに見られているということを常に意識しています。

味園准教授:まずは健康第一(笑)。そして、自分のやりたいことを見つけてほしい。そして、いつまでもそのことを応援したいですね。

Q.しょうごっこさんはそもそも積極的に育児に関わるタイプだったのでしょか？

しょうごっこ:子育ては本当に大好きです。子どもができる前は亭主関白だった頃もありましたが、妻の妊娠で考え方が変わりましたね。

味園准教授:しょうごっこさんのように「育児に関わろうかな」と、ご自身で考えて行動に移すという方がどんどん増えていけば良いと思います。

Q.どういう風に意識を変えることができたんですか？

しょうごっこ:妻の妊娠の状況を後から知る事が多く、海上保安庁は何かあったらすぐに現場に駆けつけることが仕事なのに、家庭のことには駆けつけられていないと感じた事がキッカケでした。

味園准教授:自分たちが親として育っていくんだという意識が第一歩になるのかなと思います。

Q.つまづいた事はありましたか？

しょうごっこ:家事について、初めはキッチンどこに何が置いてあるのかもわからないほどでした(笑)。育児については、育児教室やYouTubeなどネットに頼れるところは頼り、親にも聞いたりして吸収していきました。

味園准教授:育児教室に参加されるご家庭が増えてきたなと感じています。それぞれのご家庭の“家事・育児”を見つめられたら良いと思います。

Q.しょうごっこさん流子育て術はどのようなものですか？

しょうごっこ:育児を義務化しないこと。オムツ替えを『オムツ替え選手権』として時間を計って競争したり、子どもが周りを汚くしてしまう事も写真や動画を撮って「楽しい」に変換しています。

味園准教授:子育ては毎日のことでもあります。そして子どもには「自ら学ぶ力」があるんですね。おっぱいを見つげたり、ゴクンと呑み込む力だったり。そうやって大きくなってきた経験があるので、子どもが何が行動したいと思ったときにその力を発揮できるような環境があるかが大事になってくると思います。

ホントはこれをしてほしい！本音大研究会！



Q.子育ての役割、どう考えますか？

しょうごっこ: 役割分担は無いようにしていますが、妻が料理を作ってくれたりするので実は決まっていますね(笑)。僕が決まった時間で仕事をしている時は、妻が家事育児をしていましたが、仕事が在宅ワークになってからは、僕の知らないところでこれだけのことを毎日してくれていたんだと気づきハッとしました。それ以降は、味園准教授がトークショーで仰ったように「できるときに できるひとが できること」を意識しています。

大木晃: 僕の休みの日に限るのですが(笑)。お風呂と歯磨きが担当です。1人目の子どもがなぜかお風呂だけは僕とやりたいという事で、担当になりました。

上妻寿美: 仕事柄時間が不規則なので、私も役割は決めていないのですが、一番大事なことは、ババママが家事育児に対して納得できることかなと思います。私が家事育児をしている時間が多いで納得できていない部分もあります(笑)。例えば、子どものお迎えがあったら私の仕事を調整してもらいますし、家で家事育児を進めていると旦那さんは何時に帰ってくるのだらうと思います。そういう部分の葛藤があり、どうして良いかわからないです(笑)。

味園准教授: 我が家は基本的に全て夫婦一緒に家事育児をします。幼稚園の頃からの参観日も極力2人で出掛けます。日中お仕事の方もいらっしゃいますし、お家にいらっしゃる方、お仕事もして家事育児をされている方もいらっしゃると思いますが、それぞれのご家庭に合った、ちょうど良い役割を話し合っ、自分の心とも向き合いながら役割を決めていければ良いのかなと思います。

Q.気づかないパートナーを変えるには？

大木晃: “気づかないパートナー”の代表格なので…(笑)。妻から「これやって」と言われたら「はい！喜んで」ってするんですけど「その前に気づいて」という事ですよ。

上妻寿美: 私はもう、1から100まで言います(笑)。「オムツはパンツタイプのサイズよ」とか(笑)。そこまで言わないとわからないのか(笑)。私が言い過ぎているのか、と思うようにもなりましたね。気づいてくれるのが理想です(笑)。

しょうごっこ: うちの妻は逆で、何も言わないですね。見てればわかるでしょ？と暗に伝わりました(笑)。

味園准教授: 伝えることが大事だと思います。例えば…夫も私も台所に立つのですが、私はレパートリーが少なくカレーを作りがちで…(笑)。そんな中、夫と子どもが2人いる時に子どもが「カレーが食べたい」と言ったらしく、夫から「いつものカレーの人参の大きさをこれくらい？」という連絡が来たんです。夫は「いつもの私のカレーが食べたい」というニーズを感じて「大きさの確認」をしたんですね。そういう細かい部分も含めて共有したら良いのではと、我が子にとって何が最善なのか？を常に考えながら、「そういう考え方もあるよね」なんて話し合っています。

Q.スケジュールはどこまで細かく共有すべきか？

上妻寿美: お休みのスケジュールはもちろんですけど、めちゃくちゃ細かくが理想(笑)！私は、夕方からの家事育児ルーティーンが大事だと思っていて、例えば21時までには布団で寝かせたい場合、夕食とお風呂の時間を逆算して進めるわけです。パパが何時に帰ってくるのかを知る事で一緒にできる家事育児を判断したいんです。

しょうごっこ: 僕はスケジュールをガチガチに決められちゃうのが苦手なタイプで(笑)。夫婦ともに特に決めていませんね。事前に飲み会が入っていても「今日飲み会だから」とか言っちゃいます(笑)。

上妻寿美: 出ました！「パパ達の突発的な飲み会問題」。私は遅くとも3日前には知りたい…当日でも良いんですよ。でも「どうかなる」って思ってますよね(笑)？一方、ママ達が

飲み会に行く場合は、何日前から段取りするんです(会場ママさん達も頷く)。その苦勞を知ってほしい(笑)！！

大木晃: 私は居酒屋を経営しているので、毎日が飲み会のような形で自由気ままにやらせてもらってます(笑)、スケジュールをガチガチに決められるのは…まずい(笑)。人付き合いが仕事のような部分もありますので、妻も理解してくれていると思っています。

味園准教授: “思っていること”の共有ですね。「伝えたこと」と相手「理解していること」にズレがあるかもしれません。そのために“見える化”をするとわかりやすい。我が家では“3人で一緒に食卓を囲む”というペースがあるのですが夫婦のスケジュールを“見える化”しておくで「ママがない時は僕がやる」と自動的にその時の役割が決まりますよね。

Q.育児で困った時、何を見たり、誰に相談しますか？

しょうごっこ: YouTube等に頼ったりしてますね。私の親にはタイムリーで相談します。僕は「しょうごっこで“こんなに楽しくやってんだ”」と逆に見てもらいたいですね(笑)。

大木晃: 私は、子どもの行動の裏付けを知りたいので、YouTubeを見たり本を参考にしたり、場合によってはパパ友にも相談しますね。

上妻寿美: 私は、SNS等を参考にしなくなりました。1人目の子どもを育てるときにSNS等を検索してんですが「我が子のマニュアルはどこにもない」と気づいたんです。

味園准教授: 私も夫も元々は教育者なので、私は夫に相談します。SNS等がきっかけになることもあります。上妻さんが言うように、我が子の姿を見て夫婦で解決していく事も良いのではと思います。そして、地域にある子育て支援施設もフル活用してください。栄養士や保育士など、専門の方もおられるので何気ない会話が子育てのヒントとなったり、アドバイスをもらえたりします。幼稚園、保育所、こども園等には未就園児クラスもあると思いますので1歩足を踏み入れてお悩みの相談や、同じ子育てをされている方々と交流することがネットワークづくりになるかもしれないですね。

Q.お行儀や交通ルールに仲直り、どうやって教えてる？

上妻寿美: 子どもの成長と年齢で教え方も違うと思いますが、生活の中で私が教える事と本も活用して教えていますね。私だけでは慣れてきて効力が薄れている？と思う時もあるので、教える事を共有してからパパに言ってもらって効き目を上げる事もあります(笑)。

しょうごっこ: 叱らないといけないタイミングがあると思うんですけど「ため」と言う否定的な言葉は使わずに「悲しい

よ」「痛いて言ってるよ」と感情に寄り添って叱ってますね。

大木晃: 飲食店を営んでいますし、ご飯を食べる時は厳しくして「最後に怒る人」という役割に徹しています。残しそうな時は「作ってくれた人が泣いちゃうよ」等、諭していますね。子どもが楽しく芋掘りで持って帰ってきた芋を食べる時などは、色んな話をするので、そういう時に「ママは、大きくなってほしいという気持ちでご飯を作ってくれたんだよ。残したらママは嫌じゃないかな？」と言ってます。“粗末にしたら悲しくなる人がいる”と言うような“自発的に考えて食べる”ことができるように教える事を心がけてます。

味園准教授: 子どもって毎日さまざまな経験をしながら学んでいきますよね。ご飯を食べている時に交通ルールの話はしませんよね。必要な時に必要な事を必要な言葉で伝える。幼児に「きちんとしなさい」「しっかりしなさい」と言っても、抽象的な言葉なのでイメージするのが難しい。“なんか怒られてるな”という感覚が残らないのではないかなと思います。いずれは親の気持ちが伝わるというスタンスで伝えていく事ですね。子どもの行動は全て意味があるんです。「なぜそうなの？」「なぜそう考えたの？」等を聞いてあげると良いですよ。そこには子ども達なりに一生懸命伝えようとする姿があるかと思えます。自分の行動が大人に受け入れられると子どもは安心すると思います。色々な事に興味・関心があり行動しているので、分かりやすい言葉で伝えてあげる事が大事なかなと思います。

質疑応答



Q.上妻寿美さんから：夫婦の円満が家族の円満につながるのて、気をつけている事を教えてください(笑)

しょうごっこ: 愛を伝える事が好きなタイプなので(笑)、愛情表現をすくしていますね。

大木晃: 夫婦共に子ども達へのスキンシップがかなり深いので、そういう部分もつながっているのではと思います。

味園准教授: やっぱり会話がある家庭は明るくないですか？楽しい雰囲気、会話がそこにあると子どもの成長の喜びを感じ合えるのではないのでしょうか。それと、色々な方々との関わり方を肯定的なスタンスでいると受け入れられるので、新たな気付きもできるのではないのでしょうか。

しょうごっこ 育休インタビュー



1.取得したいと思ったきっかけ

産前産後がきついということは知っていたので、妻を助けたいという気持ちと、純粋に子育てに1から関わりたいという気持ち。そのような思いがあり育休を取得するに至りました。

2.周りの人の反応

妻からは「そんなに(3ヶ月半)も育休を取得して大丈夫なの？でもとても助かる！」と言ってもらえました。

また、上司や同僚からは「こんなに長い期間取得する人は初めてだけど、この期間の子育ての関わり方は夫婦関係にとっても大切なことだから奥さんのことも労わってあげなさい。大変なのはみんな一緒、次誰かが育休を取得したいと言ったら喜んで取得を勧められるくらいになればそれでいい」ととても温かい言葉をかけていただきました。

3.取得にあたって準備したこと

取得にあたっては様々な準備がありました。仕事面では後輩への業務内容の引継ぎ、会社の育休制度の勉強を行いました。

また家庭・子育て面では育休中の過ごし方や家事の分担について話し合いを行いました。**不安なこと、わからないことを正直に言い合い、前もって相談できていたのがより良い育休期間につながったのではないかなと思いました。**

4.育児休業を取得して感じたこと

元々育児には興味がありましたが、妻の妊娠出産、そして育休を取得したことをきっかけに根本的に意識を変えることができました。

たくさん子どもがいる人が育児ができるというわけでもないし、若者は育児ができないというわけでもない。育児は平等なんだなということを実践して初めて理解することができました。育休はそのようなことに気付くきっかけの期間になったので取得して本当に良かったなと感じています。

5.これから育児休業を取得する方に一言

「周りに迷惑をかけるとか、自分の仕事だからと思う必要はない。もっと言えば君にしかできない仕事なんて存在しないけど君にしかできない家庭での役割はある」僕は上司からこの言葉をもらってから一気に心が軽くなりました。育休を取得する上で大切なことは、**事前準備や育休取得の意思表示を職場や夫婦間でしっかりと話し、周りを巻き込みながら育休を取得しやすい環境づくりをすることだと思います。**

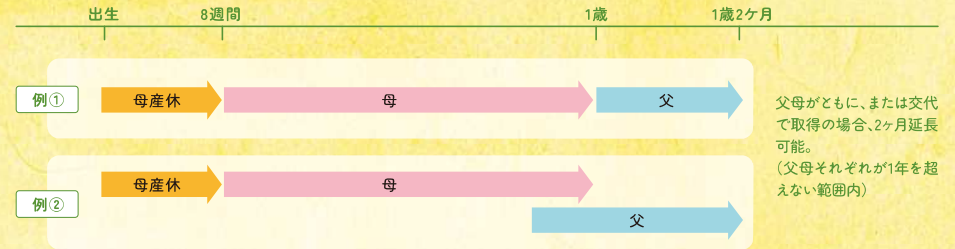
育休中、お給料減は厳しい部分もあるかとは思いますが、絶対にそれ以上の価値はあると思えました。

育児休業給付等について

パパママ
育休プラス

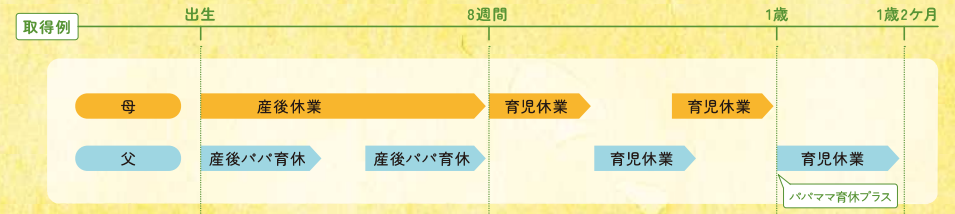
1.父母ともに育児休業を取得する場合の育児休業取得可能期間 延長

父母ともに育児休業を取得する場合、子が1歳2か月に達するまでの間に、1年まで休業することが可能。



2.子の出生後8週間以内の父親の育児休業取得促進

1歳までの育児休業とは別に、子の出生後8週間以内に4週間まで、産後パパ育休を取得できる。初めにまとめて申し出れば2回に分割して取得することが可能。



3.育児休業給付の給付水準

育児休業(産後パパ育休を含む)を取得し、受給資格を満たしていれば、休業開始時賃金月額×67%(休業開始後181日目以降は50%)が支給されます。(一定の要件あり)

月の給与	30万円
①年金保険料(厚生年金)	2万7,450円
②健康保険料(協会けんぽ)(医療)	1万5,000円
③雇用保険料	1,800円
④所得税	6,079円
⑤住民税	1万2,741円
手取り額	23万6,930円

- ①及び②…育児休業中、産後パパ育休中は申し出により支払いが免除される。
- ③及び④…育児休業中、産後パパ育休中に勤務先から給与が支給されない場合は雇用保険料負担はなく、所得税もかからない。
- ⑤…前年の収入により税額が決定されるため、育児休業中、産後パパ育休中も支払う必要あり。

1.育児休業給付金の場合
 $300,000円 \times 0.67 - 12,741円 = 188,259円$
 (給与) (給付率) (住民税)

2.出生時育児休業給付金の場合
 $10,000円 \times 5日 \times 0.67 = 33,500円$
 (休業開始時の賃金日額*) (休業日数*) (給付率)

*日数、金額は仮である *休業開始時の賃金日額...休業開始前6ヶ月間の賃金(賞与を除く総支給額)÷180 *休業日数...最長4週間(28日)

鹿児島県の取り組み



「育児の日」協力企業等の 子育て支援の取り組み



取り組みその1 毎月19日は「育児の日」!!



県では、毎月19日を「育児の日」として、子育てを地域全体で応援する気運を盛り上げていくこととしています。

家庭で：子どもとの時間を作り学校行事等に参加しましょう。

地域で：乳幼児を連れて方や妊婦さんに席を譲りましょう。

職場で：ノー残業デーを設けましょう。



取り組みその2 かごしま子育て支援パスポート事業



鹿児島県内にお住まいの妊娠中の方、及び18歳未満の子どもがいる世帯の方が、「かごしま子育て支援パスポート」を協賛店舗で提示することにより、各店舗が設定する優待サービスを受けることができます。



取り組みその3 かごしま結婚・子育てサポート宣言企業



県では、結婚・子育てを応援する雰囲気づくりを職場から社会全体に広げていくため、「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業」の募集・登録を行っています。ご登録いただいた企業には、ロゴマークや、結婚・子育てに関する情報を提供します。



取り組みその4 かごしま子育て応援企業



県では、企業の子育て支援を促進するため、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録しています。各企業の取組については、県のホームページで紹介しておりますのでご覧ください。



アサダメッシュ(株)鹿児島工場

取り組み1 託児所設置

従業員が安心して働けるよう無料で利用できる託児所(アサダキッズ)を事業所内に設置!



取り組み2 看護休暇あり

「中学校就学の始期に達するまでのお子様」を対象とした看護休暇あり!



取り組み3 見学会・体験会

地域の小・中学校の社会科見学や職場体験を実施しています!



取り組み4 社内イベント

従業員の家族を招待して、職場ツアーやアサダキッズ夏祭りなどのイベントを開催!



株式会社国料建設

取り組み1 イクボス宣言

イクボス宣言を実施!子育てと仕事の両立がしやすい環境が整っています。



取り組み2 有給取得

有給休暇制度の取得率全社員100%!女性の年間20日取得実績や、育児世代男性の学校イベント100%出席実績もあり!

取り組み3 フォトブック作成

親が働く姿を家族と共有できるフォトブックを作成して社員に配布。パパやママのおしごと姿が見れます。

取り組み4 募金型自動販売機を設置

日本財団が企画する募金型自動販売機を本社に設置。募金先は交通遺児のために活用されるなど、社会全体の子育て支援を実施しています。



薩摩川内市社会福祉協議会

取り組み1 ノー残業デー

毎月19日育児の日にノー残業デーを実施。また、それだけでなく時間外勤務の縮減にも積極的に取り組み、年次有給休暇の取得日数も1人当たり平均10日以上を目指しています。



取り組み2 イクボス宣言

イクボス宣言事業にも登録。子育てのことを第一に考える企業になれるよう、経営者や管理者からイクボス宣言を発信しています。



取り組み3 薩摩川内市女性活躍推進認定企業に認定

女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画」を策定し、男女ともにすべての職員が活躍できる職場づくりを目指しており、そのために経営者や管理者がイクボス宣言を行ったりノー残業デーの実施など時間外勤務の縮減に積極的に取り組んでいます。



株式会社満留建設

取り組み1 ノー残業デー

毎月19日育児の日にノー残業デーを実施。さらに、毎週水曜日にもノー残業デーを実施中。家族との時間が取れるような配慮がたくさんあります。

取り組み2 時間単位有給

時間単位での年次有給休暇の取得も可能。急な子どもの発熱やお迎え時間の調整など、突然の出来事が起きても安心して有給取得が行えます。

取り組み3 特別育児休業付与

年次有給休暇とは別に、小学校就学前のご子どもを対象に育児休暇(有給休暇)を1日付与。また、年次有給休暇については4月に計画を立て、従業員間で共有する取り組みも。計画的な有給取得と子どものための有給施策で家庭との時間をやさしくサポート。





鹿児島県

発行:2024年 1月

鹿児島県 暮らし保健福祉部 子育て支援課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL 099-286-2800

FAX 099-286-5561

Mail:kosodate@pref.kagoshima.lg.jp